

8月7日提出

JTSU-E 申第5号

## JR東日本ステーションサービスに申し入れを行う!

### いのちを守る安全行動の確立を求める緊急申し入れ



7月20日、五反田駅での線路内拾得開始直後、汽笛吹鳴を受け、列車が緊急停止する重大事象が発生しました。



「グループ安全計画 2023」では「安全」は人の命を守ること「安定」は列車の正確な運行を守ることとどちらも鉄道に重要と示されています。しかし少ない社員数による効率的な業務遂行など、安全が軽視されているのが実態です。お客さまの命はおるか自分の命さえ守れない現実に強い危機感を抱きます。

今こそ正しい現場把握とその背後に潜む要因を明確にすることで真の安全文化構築が必要です。よって下記の通り申し入れました。

- 1.線路内拾得作業等における「あわや触車」という事象が繰り返し発生していることに対し、見解を明らかにすること。また、現場実態の現実を正しく把握し、組織事故の観点からも個人の責任に転嫁せず、いのちを守ることへの経営責任を果たすこと。
- 2.線路内拾得作業およびそれらに関する業務を行う場合には、関係列車の抑止手配を行い実施すること。
- 3.鉄道に携わる全ての方のいのちを守るための行動指針を明確にし、全社員を対象とした安全教育を速やかに実施すること。
- 4.今申し入れに対する回答及び団体交渉については速やかに日程調整を図り実施すること。